

万葉線における、安全・安心と快適性の向上に資する設備改修・改善と、沿線住民への啓発や体験ツアー等の各種ソフト事業の継続的な実施に加え、今計画において新たに、パークアンドライド用自転車駐車場の整備を行うことで、利用者のさらなる利便性の向上を図り、もって公共交通の利用促進と万葉線の活性化を図ることを目的とする。

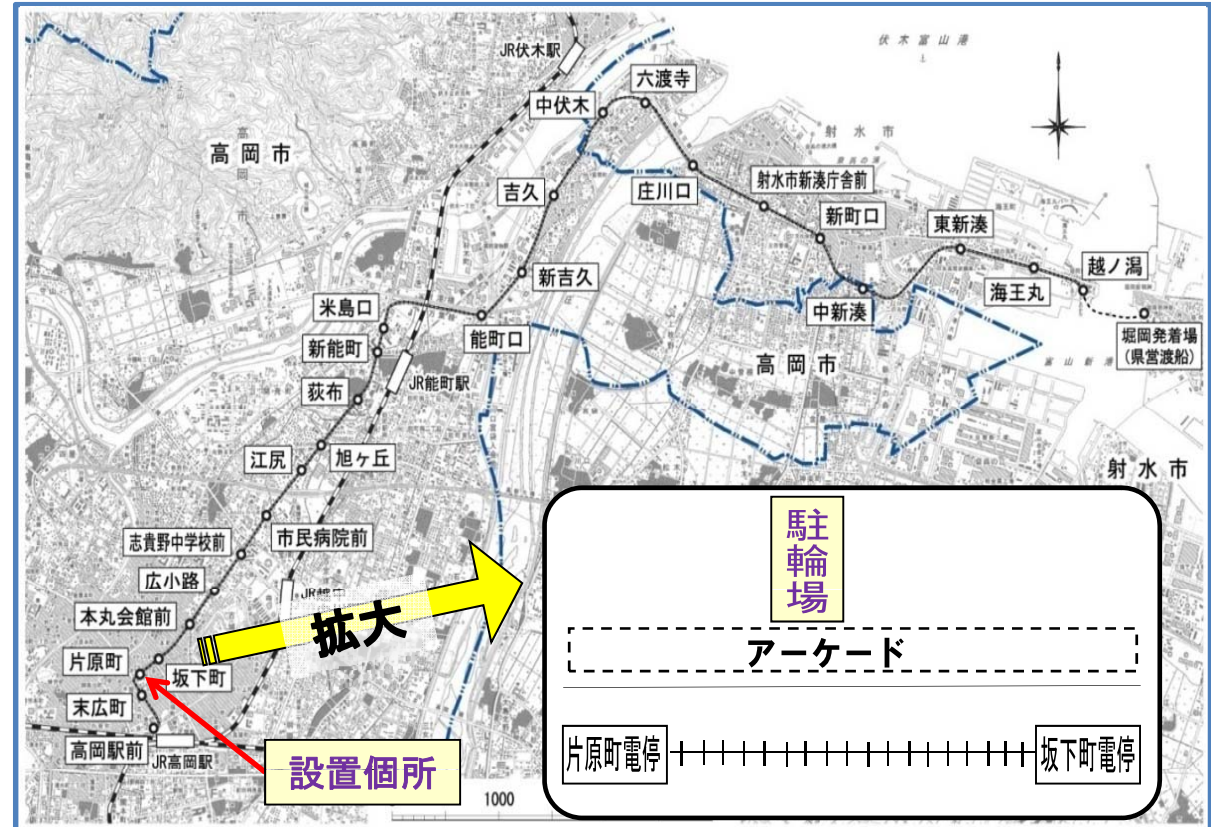
【万葉線活性化推進協議会】

高岡市、射水市、万葉線株式会社、富山大学、北陸地方整備局富山河川国道事務所、富山県高岡土木センター、北陸信越運輸局、北陸信越運輸局富山運輸支局、高岡警察署、射水警察署、高岡市連合自治会、射水市放生津校下連合自治会、路面電車と都市の未来を考える会高岡、万葉線を愛する会 他

事業の概要(22年度)

小規模自転車駐車場の整備

事業費 3,728千円



マイカー利用の抑制や環境負荷の軽減にも資するパークアンドライドを推進するため、片原町電停付近に自転車駐車場を整備し、利便性の向上と利用促進を図る。

周辺では自転車の放置状態が悪化しているため、放置状況の改善も期待するもの。

収容台数30台

22年度 導入への プロセス

片原町通りでは以前から放置自転車や迷惑駐輪が多く、利用者の利便性が損なわれていた。
また、自転車駐車を設けることにより、サイクルアンドライド利用者の獲得等による利用者の増加を図るため、自転車駐車の建設を検討する。

さらに、アーケードの通行障害となることや景観等の問題から、地元住民からも自転車駐車整備の要望があり、自転車駐車整備を決定する。

法定協議会を適切に開催し、万葉線を活性化し、地域を活性化するために適切な事業を選び出し、事業を実施する中で、その問題点の検証、事業の見直しの要否の検討、地域関係者の合意形成など当該事業を本格実施する環境の整備に向けて必要な検討を行った。

22年度 事業の 効果

利便性の向上(サイクルアンドライド)

高校生の通学時を中心に、常時20台以上の利用がある。
駐車を設けることで、サイクルアンドライド利用が可能になり、利便性が向上した。

放置自転車の減少

自転車駐車ができたことにより、歩道上に常時十数台あった放置自転車が、ほぼ無くなった。これにより、商店街の歩行環境が著しく改善された。

次年度 以降

安全・安心と快適性の向上に資する設備改修・改善、体験ツアー等のソフト事業を通じ、さらなる利便性の向上を図る。

安心・安全の輸送サービス

重軌条交換及び、軌道道床硬質構造化や、信号保安設備の更新等を行い、安全性を高める。

地域や他の機関との連携の強化

他団体と連携し、ノーマイカー運動に積極的に取り組み、利用者の増加を図る。

乗降環境の改善

停留施設の整備や老朽化した待合室(中新湊、東新湊等)の改良を行い、利用しやすい環境整備をする。

サービスの充実と魅力向上

沿線の観光素材を生かした、万葉線体験ツアーを開催し、利用者の増加を図る。

また、イベント時にはマイカーに比べ環境にやさしい乗り物であることをPRし、各種エコ活動にも取り組んでいく。